

「仕事も暮らしも。欲張りな ライフスタイルの実現」に向けて

~ひろしま未来チャレンジビジョン改定版~

平成29年3月15日 広島県経営企画チーム 山﨑真紀

目指す姿 ★今後5年間で目指す姿を県民の皆様と共有するため、新たに設定

基本理念を基に,

<u>仕事でチャレンジ!暮らしをエンジョイ!活気あふれる広島県</u> ~仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現~

を目指します。

≪県民一人ひとりが主役の新しいライフスタイル≫



長距離通勤と残業で 帰宅後はいつもぐったり

趣味のお稽古にも, 最近行ってないなぁ。

早く帰って子供との 時間を大事にしたい…

キャリアアップは あきらめて, 仕事を セーブしないと。



仕事優先? 暮らし優先?

広島県は, どちらもあきらめ ない, 欲張りな ライフスタイルを 応援します!









暮らしの充実⇒仕事の生産性up!⇒欲張れる好循環へ

ひろしま未来チャレンジビジョン策定の趣旨

人口減少・少子高齢化,経済活動を始めとするグローバル化の進展などの変化が進む中,本県の目指す姿(将来像)を県民と共有し,一緒に,新たな広島県づくりを推し進めることを目的に,平成22(2010)年10月に策定

基本理念

将来にわたって,

「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

ひろしま未来チャレンジビジョン策定後の取組

4つの政策分野を相互に連関させ、相乗効果をもたらしながら 好循環する流れをつくり出してきました。

イノベーションを持続的に創出し、 雇用や所得を生み出す

新たな経済成長

多様な人材の育成や集積など あらゆる分野の基礎となる

人づくり

豊かな地域づくり

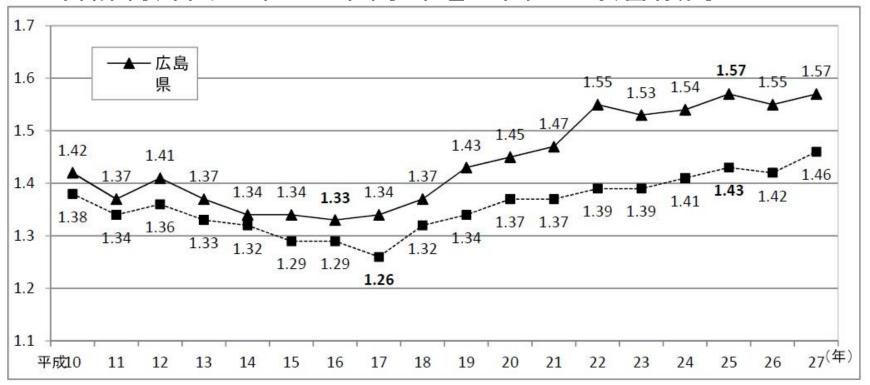
県内各地域の個性や資源を生かす

安心な暮らしづくり

暮らしに直結した生活基盤を支える

ひろしま未来チャレンジビジョンの取組の主な成果(1)

• 合計特殊出生率~全国水準を上回って改善傾向

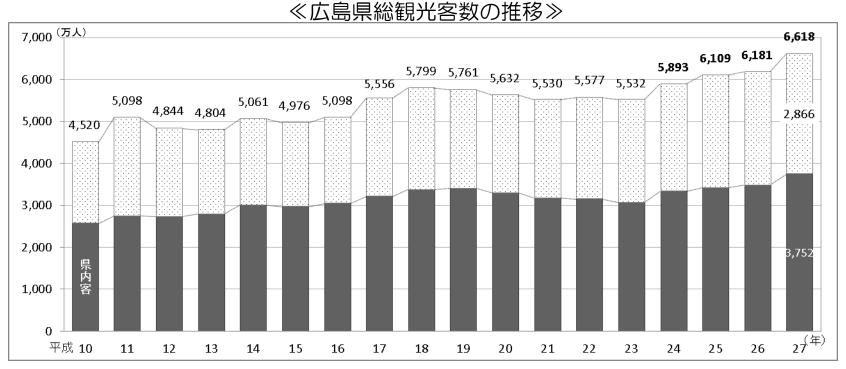


出典:厚生労働省「人口動態統計」

- ▷ 平成17年に全国の出生率が1.26まで落ち込んだ後, 団塊ジュニア世代による出産 件数が増加したことなどから, 全国的に徐々に回復基調にあります。
- ▷ 中でも, 広島県の回復幅(伸び率)は全国第5位であり, 全国水準を上回って推移しています。

ひろしま未来チャレンジビジョンの取組の主な成果②

• 交流人口の拡大~総観光客数が4年連続で過去最高を更新

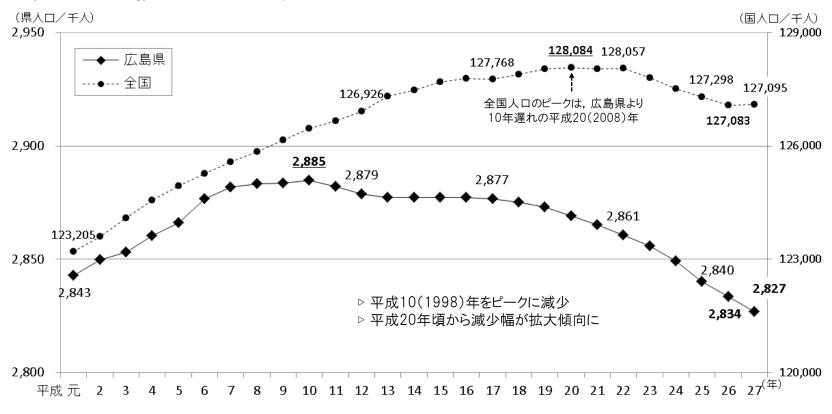


出典:広島県「広島県観光客数の動向」

▶ 大河ドラマの放映や「瀬戸内しまのわ2014」などのイベント・キャンペーンによる集客 効果に加え、「おしい!広島県」などのインパクトを重視した積極的な観光プロモーショ ンにより、広島の観光地としての認知度・ブランド力の向上が進んでいます。

本県人口の現状

• それでも続く人口減少



出典:広島県「人口移動統計調査」,総務省統計局「人口推計」

- ▷ 合計特殊出生率は改善傾向にありますが,若い世代の人口減少や晩婚化の進行により 出生数は減少が続き,死亡数を下回る「自然減」の状況にあります。
- ▷ 進学·就職期の若者を中心に, 県外転出者が転入者を上回る「社会減」が続いています。

将来を展望する上で、特に考慮が必要な情勢変化

❖ 人口減少の進行

今後, 団塊ジュニア世代が人口再生産年齢を過ぎることで出生数の減少は更に進むおそれがあります。

- 一方で … ▷ 県民の希望出生率1.85 ※27年の広島県の合計特殊出生率は1.57
 - ▷ 県内高校生・大学生の6割超が県内進学・就職を希望
 - ▷ 県出身の東京・大阪圏在住者の7割がUターンを検討

このような「子供を持ちたい」「広島に住み続けたい」という県民一人ひとりの希望を 実現できる社会をつくり出すことが必要です。

❖ 東京一極集中の加速化

景気回復や東京オリンピック・パラリンピック開催で今後も加速すると予想される東京一極集中について、その流れを逆転し、広島への流れをつくり出す必要があります。

❖ グローバル化新局面の到来

アジアの経済成長に伴う競争激化,外国人観光客の大幅な増加など,グローバル化の新たな局面への的確な対応が必要です。

❖ 安全・安心に対する意識の高まり

東日本大震災や県内での大規模土砂災害をきっかけとする防災意識の高まりを, 県民の皆さんと共に具体的な行動につなげていく必要があります。

改定の趣旨

・ チャレンジビジョン策定から 5年経過し,本県を取り巻く 社会経済環境が大きく変化



様々な情勢変化を踏まえ、 これまでの取組の成果や変化 の兆しをより確かなものに ・国においても,人口減少・ 超高齢化という課題に対応 するため,地方創生に係る 大胆な政策の実行を打出し



これまで本県がチャレンジ ビジョンに基づいて進めてきた 取組を更に加速する追い風に



本県の目指す姿の実現に向けて、県民の皆様と一緒に「一歩先へ」踏み出すため、チャレンジビジョンを発展的に見直し、新たな挑戦を推し進めます。

目指す姿 ★今後5年間で目指す姿を県民の皆様と共有するため、新たに設定

基本理念を基に,

仕事でチャレンジ! 暮らしをエンジョイ! 活気あふれる広島県 ~仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現~

を目指します。

≪県民一人ひとりが主役の新しいライフスタイル≫



長距離通勤と残業で 帰宅後はいつもぐったり

趣味のお稽古にも, 最近行ってないなぁ。

早く帰って子供との 時間を大事にしたい…

キャリアアップは あきらめて, 仕事を セーブしないと。



仕事優先? 暮らし優先?

広島県は, どちらもあきらめ ない, 欲張りな ライフスタイルを 応援します!









暮らしの充実⇒仕事の生産性up!⇒欲張れる好循環へ

目指す姿の実現に向けた視点

目指す姿の実現に向けて、4つの政策分野の好循環をより 一層推進するため、次の3つの視点を掲げています。

イノベーション

フロンティア精神にあふれた県民性を生かし, 様々な分野でイノベーションを起こして, 生産性や暮らしの利便性の向上を図る。

ファミリー・フレンドリー

保育·教育·医療の充実, 住環境の向上など, 家族で住みたい環境づくりを通じ, 誰もが暮らしやすい広島県の実現を目指す。

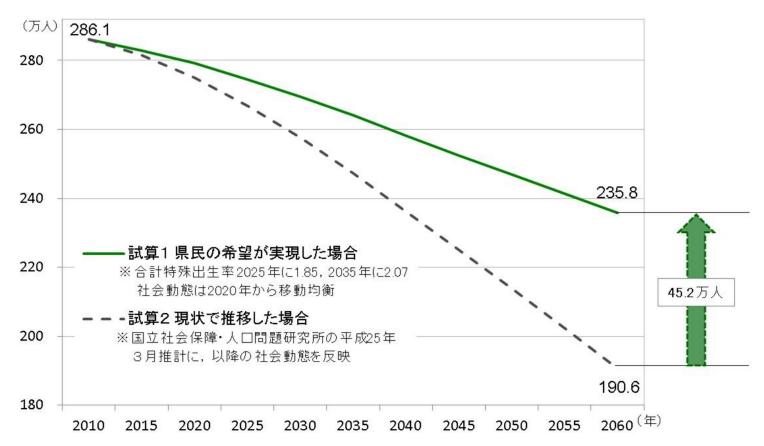
都市と自然の近接ライフ

都市と自然が近く、どちらの魅力も満喫できる環境を生かし、都市も自然もスマートに楽しむライフスタイルの魅力に磨きをかける。

広島県独自の強みや広島県が元々持っている素地を生かした この3点を統一的な視点とすることで、施策全体の統一性が高まり、 目指す姿の実現に向けた大きな推進力になると考えています。

本県人口の将来展望

- 現状で推移した場合, 2060年の人口は200万人を下回る見込みです。
- 出生や社会移動に関する県民の希望が実現することで、合計特殊出生率や 転出超過が改善した場合、2060年の人口は約235万人となり、現状で推移した 場合と比べて約45万人の押し上げ効果が期待できます。



4つの政策分野の取組方向①

人づくり

少子化対策	人口の自然減対策 (結婚~子育て期の切れ目ない支援など)
女性の活躍	働く女性の支援、男女共同参画など
働き方改革	男女とも安心して働き、暮らしを楽しむ社会の実現
人の集まりと定着	人口の社会減対策 (若者の転出超過対策,移住·定住促進,就労支援など)
教 育	幼児教育~高等教育, 系統的なコンピテンシーの育成など
多様な主体の 社 会 参 画	高齢者,障害者など,多様な主体の活躍支援

4つの政策分野の取組方向②

新たな経済成長

産業イノベーション	イノベーション力の徹底強化,高度人材の育成・確保 など 新たな投資誘致 海外ビジネス
農林水産業	シェア・需要拡大,担い手育成・経営力強化など
観光	国内外から広島県及び瀬戸内地域への観光客誘致
交流·連携基盤	グローバルゲートウェイ機能強化, 産業支援インフラの整備 など

4つの政策分野の取組方向③

安心な暮らしづくり

医療·介護	医療提供体制の確保, 地域包括ケア体制の整備など
健康	健康増進·医療費適正化,メンタルヘルス,がん対策, 感染症対策など
福祉	高齢者福祉, 障害者福祉, 児童福祉など
環 境	環境保全,地球温暖化防止など
防災·減災	ハード・ソフト一体の防災・減災対策, 減災に向けた県民総ぐるみ運動など
消費生活	消費者被害対策, 食品の安全・安心対策
治 安	安全安心の確保,犯罪被害者支援など

4つの政策分野の取組方向④

豊かな地域づくり

魅力ある地域環境	「ひろしま」ブランド,都市圏魅力向上など
瀬戸内	瀬戸内 海の道構想, 瀬戸内海環境保全など
中山間地域	人づくり, 仕事づくり, 生活環境づくり
平和貢献	広島の国際平和の拠点化